

しらべものをする

「〇〇についてしらべてみよう」・「しらべ学習」や「自由研究（じゆうけんきゅう）」などで、何かしらべなくちゃいけない。さあ、どうしよう！こんなとき、図書館（としょかん）は心強いみかたです。

しらべることがきまっていますか？

もう、きまっている人は、「きまっているよ！」ボタンを、自由研究（じゆうけんきゅう）など、まだきまっていない人は、「きまっていないよ」ボタンをクリックしてね。

<きまっているひと>しりょうをさがそう

「しらべること」がきまっている人は、しりょうをさがしてみよう。本をさがすためには、いろいろな方法（ほうほう）があるよ。

パソコンをつかってさがす

1. 「[ほんをさがす](#)」やOPAC（オーパック）に、しらべたいことを入れてみよう。（OPACとは、図書館（としょかん）にある本をさがすためのパソコンのことです。）
2. 出てきた本のなかから、見たい本をえらびましょう。
3. えらんだ画面（がめん）に、[請求記号（せいきゅうきごう）](#)・所蔵館（しょぞうかん）・場所（ばしょ）が出ています。これをもとに本だなから本をさがします。わからないときは、レシートを出して、図書館のひとにきいてね。

ことばを入れるときのちゅうい！

みじかすぎると、そのことばが入っているほんが全部でてきて、さがしたいものが見つけにくくなります。もう少しことばをたしてみよう。

長すぎると、1文字（もじ）ちがっても、コンピュータでは出てきません。そのときは、すこしみじかくしてさがしてみよう。

請求記号(せいきゅうきごう)って何？

請求記号(せいきゅうきごう)とは？



本についているラベルに書かれている「分類番号(ぶんるいばんごう)」と「カタカナ」でできています。

分類番号(ぶんるいばんごう)にはどんな意味(いみ)がある？

図書館の本は、「[日本十進分類法\(にほんじっしんぶんるいほう\)](#)」という分けかたで、グループごとにわかれて、本だにならんでいます。本の住所(じゅうしょ)のようなものです。同じないような本がかたまってなるようになっていきます。

カタカナはなに？

本を書いたひとの名前からとっています。同じ番号(ばんごう)の本がたくさんあるとき、どうしたら見つけやすいでしょう。そこで、このカタカナの「あいうえおじゅん」にならべることで、ぐんとさがしやすくなります。「おはなし」など、何さつも書いているひとは、かたまって見つけられます。

日本十進分類法(にほんじっしんぶんるいほう)

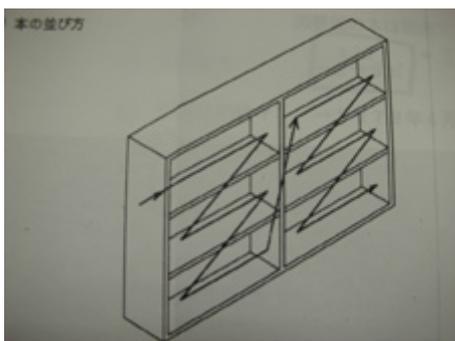
日本十進分類法(にほんじっしんぶんるいほう)の表

最初の数字	どんな本
0	百科事典・図書館に関する本・コンピューター (ひゃっかじてん・としょかんにかんするほん・こんぴゅーた)
1	ものの考え方・宗教 (もののかんがえかた・しゅうきょう)
2	歴史・伝記・地理・旅行 (れきし・でんき・ちり・りょこう)
3	社会・福祉・学校・むかしばなし・ことわざ (しゃかい・ふくし・がっこう・むかしばなし・ことわざ)
4	算数・理科・体や健康 (さんすう・りか・からだやけんこう)
5	機械・電気・手芸・料理 (きかい・でんき・しゅげい・りょうり)
6	園芸・農業・交通・のりもの (えんげい・のうぎょう・こうつう・のりもの)
7	絵・音楽・スポーツ・あそび (え・おんがく・スポーツ・あそび)
8	国語・外国語・辞書 (こくご・がいこくご・じしょ)
9	詩・物語 (し・ものがたり)

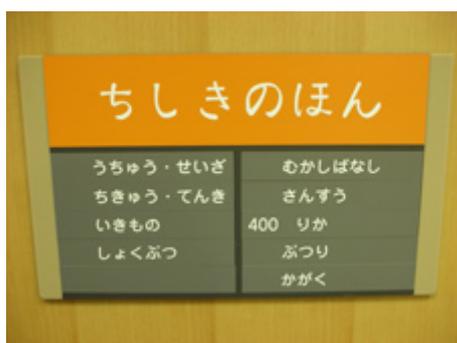
としょかんの本だなでさがす

本だなでのさがしかた

としょかんの本は、同じないようの本があつまるように分類番号（ぶんるいばんごう）でグループ分けしています。本だなには、分類番号（ぶんるいばんごう）じゅんにならんでいます。



本は左から右へならんでいます



たなにはどんな本があるかわかるように案内がついています

同じ番号の本がいろいろあるね。番号はちがうけれど、そのまわりにあるのは、みんな、同じなかまの本だよ。まわりの本もいろいろ見てみよう。新しい発見があるかもしれない！
分類番号がわかると、図書館の中の案内図（あんないず）から、本だなのぼしよをさがせるよ。

「おはなし」など同じ番号が多いときは、本を書いた人の名前の「あいうえおじゅん」にならんでいるんだよ。

<きまっていないひと>

しらべるテーマをみつけよう

何についてしらべたいかわからないときは、どうしよう。あなたの好きなものはな～に？きょうみのあることは何ですか？いつもふしぎだな、おかしいな？と思っていることはないかな？

その中から、何かひとつえらんでみよう。そして、そのどんなこと、どんなところが一番しらべたいのか、よく整理（せいり）してみましょう。

どうしても見つけられないときは、[百科事典（ひゃっかじてん）](#)をつかうとべんりです。

百科事典（ひゃっかじてん）をつかってみよう

百科事典（ひゃっかじてん）の使いかた

1. 何をしらべたいかわからない人は、頭にうかんだ言葉や好きなもので、まず百科事典をひいてみよう。たとえば、<鳥>
2. どの鳥がすきですか。<つる>がすきだとすると
3. 次に<つる>を百科事典でひいてみます
4. <つる>の説明のなかには、巣（す）のことが書いてあります。どんな巣をつくるのかな？どれくらい時間がかかるのかな？

こんなふうに、何を一番しらべたいのかが、ドンドンはっきりしてきます。

「よくわからない！だれかたすけて！」と思ったら

としょかんのひとにきいてみよう。

- [としょかんの“オタスケマン”司書\(ししょ\)に聞こう！](#)

ほかにも、きみも「しらべもの博士(はかせ)」になれるような本やリンク集(しゅう)もあるよ。

- [しらべかたをおしえてくれる本](#)
- [リンク集\(しゅう\)](#)

としょかんの“オタスケマン”司書(ししょ)に聞こう！



しらべもののおてつだいをしてくれるひとを”司書(ししょ)”といいます。司書(ししょ)は本のことをよく知っている専門家(せんもんか)です。何の本でしらべるかや、としょかんのつかい方をおしえてくれます。

いろいろ聞いて、“しらべもの博士(はかせ)”になろう！

「しらべもの博士(はかせ)」になろう

ほかにも、きみも「しらべもの博士(はかせ)」になれるような本やリンク集(しゅう)もあるよ。

しらべかたを教えてくれる本

- 調べ学習の基礎の基礎 だれでもできる赤木かん子の魔法の図書館学
(しらべがくしゅうのきそのきそ だれでもできるあかぎかんこのまほうのとしょかんがく)
赤木かん子 著
- 図書館へ行こう!シリーズ
(としょかんへいこう! しりーず)
赤木かん子 著
- 総合百科事典ポプラディア
(そうごうひゃっかじてん ぽぷらでいあ)
ポプラ社 発行
- クックとタマ次郎の情報大航海術
(くっくとたまじろうのじょうほうだいこうかいじゅつ)
片岡則夫 著

リンク集(しゅう)

しらべ方を知っていれば図書館は情報(じょうほう)の宝箱(たからばこ)です。ほかにもインターネットがつかえるパソコンもあります。パソコンを使いたい人や、図書館の使い方がわからないときは、図書館の人にきいてね。

ホームページには、しらべものにやくだつおもしろい [こどもリンク集](http://www2.library.inagi.tokyo.jp/link/30533082)
(<http://www2.library.inagi.tokyo.jp/link/30533082>)もあるのでチェックしてくださいね。